

1 消防のあゆみとおもな災害



消防本部庁舎（平成6年開署）

小田原消防150年のあゆみ

年 代	変 遷
江戸時代	小田原藩町火消は19町の戸主が組織する。
明治2年5月	とび職による常備消防夫として組織する。(80名) ※手当15円/年、出場毎に2銭の弁当料を支給
明治11年4月	小田原町全域に町設消防組として組織する。(19組、600名)
明治17年1月11日	出初式を初めて西海子(現在の南町)で挙行する。 ※腕用ポンプ
明治27年2月9日	消防組規則制定に伴い、小田原公設消防組を組織する。(5部、580名) ※手押しポンプ
明治41年	小田原消防組を組織する。(24ヶ分隊(2ヶ分隊とび職の破壊消防含む)、組頭以下770名) ※ガソリンポンプ11台、手押しポンプ11台
昭和5年10月1日	小田原町消防組を改組し小田原町常設消防部を発足する。(組頭以下122名) ※望楼設置、フォード消防自動車3台
昭和14年4月1日	消防団令に基づき消防組を改組し、小田原町警防団として組織する。
昭和16年	前年の市制施行に伴い、小田原市警防団として組織する。(1,381名)
昭和23年3月7日	消防組織法施行に伴い、警察行政より分離して小田原市消防本部、消防署並びに消防団を設置、自治体消防を発足する。 ・組織 消防長以下37名、消防団15個分団、特設2個分団、1,237名 ・設備 消防車6台 ・設置場所 小田原市幸1-138
昭和26年7月16日	足柄出張所を設置する。 ・組織 消防職員16名 ・設備 消防車2台 ・設置場所 小田原市多古644 消防本部の係を庶務、予防、消防の3係とする。
昭和31年6月4日	川東分署を設置する。(消防職員定数82名) ・組織 消防職員16名 ・設備 消防車2台 ・設置場所 小田原市国府津2,493 足柄出張所を足柄分署に改める。
昭和35年7月1日	救急車1台を本署に配備し、救急業務を開始する。
昭和36年5月25日	西分署を設置する。 ・組織 消防職員16名 ・設備 消防車2台 ・設置場所 小田原市南板橋2-255 足柄分署を北分署に、川東分署を東分署に改める。
昭和38年4月1日	西大友分遣所を設置する。 ・組織 消防職員8名 ・設備 消防車1台 ・設置場所 小田原市西大友9
昭和46年4月1日	橋町合併に伴い、消防団を22個分団732名とする。
昭和63年4月1日	城北分署を設置する。 ・組織 消防職員20名 ・設備 消防車2台 救急車1台 連絡車1台 ・設置場所 小田原市栢山3017-2 消防職員定数を186名とする。
平成6年8月1日	消防本部を小田原市前川183-18に移転する。 ・構造 鉄筋コンクリート造 3階建塔屋付 ・延床面積 3,931.8㎡ 旧庁舎を中央分署とする。
平成18年8月1日	中央分署及び西分署を統合し南分署を設置する。 ・構造 鉄筋コンクリート造4階建 ・設置場所 小田原市南町1-9-36
平成25年3月31日	消防の広域化により南足柄市及び足柄上郡5町(中井町、大井町、松田町、山北町及び開成町)から消防事務を受託する。 ・1本部2署2分署7出張所で、職員数353名の配備態勢となる。 ・署所の名称を改める。小田原消防署、南町分署、荻窪出張所、国府津出張所、栢山出張所、西大友出張所、足柄消防署、松田分署、岡本出張所、山北出張所、中井出張所を配置する。 ・機構改革により、消防総務課を総務係と財務係とする。広域調整課(広域調整係、消防団係)を新設する。 ・警防課を警防計画課(計画係、装備係)に改める。救急課(救急対策係)を新設する。情報司令課(情報管理係、司令係)を新設する。消防署管理調査係を廃止し、消防課を新設する。警備課を警防課に改める。 ・小田原消防署に高度救助隊を発足する。
令和2年12月17日	岡本出張所を建て替える。 ・鉄筋コンクリート造 2階建 延べ面積611.83㎡
令和3年2月16日	国府津出張所及び西大友出張所を廃止し成田出張所を開設する。 ・鉄筋コンクリート造 2階建 延べ面積1,116.21㎡ ・設置場所 小田原市成田923-2



出初式の様子 (年代不明)

消防の広域化について

平成25年3月31日、小田原市消防と足柄消防組合は統合し、県西地域2市5町（小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町及び開成町）を管轄する「新たな小田原市消防」としてスタートしました。

新体制のもと、災害対応力の強化や行財政運営の効率化など、消防の広域化による効果を最大限に活かし、火災などに強い安心して暮らせるまちの実現を目指して、これからも消防職員一丸となって取り組んでいきます。

～ 消防の広域化の経緯 ～

年 月	内 容	所 管
平成18年6月	「消防組織法」を一部改正	総務省消防庁
平成18年7月	「市町村の消防広域化に関する基本指針」告示	
平成19年3月	「広域消防検討分科会」を設置	県西地域広域市町村圏協議会
平成19年5月	「市町村の消防の広域化検討結果報告書」作成	神奈川県
平成19年5月	広域化のメリット・デメリットを整理(広域消防検討分科会)	県西地域広域市町村圏協議会
平成20年3月	「神奈川県消防広域化推進計画」を策定	神奈川県
平成22年3月	「広域消防グランドデザイン」作成(広域消防検討分科会)	県西地域広域市町村圏協議会
平成22年4月	「消防広域化検討部会」を設置	
平成23年2月	「消防広域化検討結果報告書」作成(消防広域化検討部会)	神奈川県西部広域行政協議会
平成23年8月	消防の広域化に向けた新たな協議組織への参画を表明	
平成23年9月	「神奈川県西部消防広域化協議会」の設置	神奈川県西部消防広域化協議会
平成24年1月	全ての協議項目を確認し各市町が参画表明	
平成24年3月	「足柄消防組合の解散に係る協議について」議決	足柄1市5町各議会
平成24年4月	「神奈川県西部広域消防運営計画」の承認 「消防事務の委託に関する規約」の承認	神奈川県西部消防広域化協議会
平成24年6月	「消防事務の委(受)託に関する協議について」議決	県西地域2市5町各議会
平成24年7月	2市5町の首長による「消防事務の委託に関する規約締結式」が挙行され、消防の広域化が正式に決定	神奈川県西部消防広域化協議会

歴代消防長

代名	氏名	就任・退任年月	
初代	永野 林次	昭和23年 3月	昭和30年 3月
2	荻窪 幸六	昭和30年 4月	昭和36年 9月
3	二見 衡平	昭和36年10月	昭和40年 6月
4	小野 菊造	昭和40年 7月	昭和44年10月
5	勝間田 熊雄	昭和44年11月	昭和47年 5月
6	遠藤 英昭	昭和47年 6月	昭和62年 3月
7	内藤 慶一	昭和62年 4月	昭和62年11月
8	中村 満	昭和62年12月	平成 5年 3月
9	中村 久雄	平成 5年 4月	平成 8年 3月
10	高橋 廣毅	平成 8年 4月	平成 9年 3月
11	塩塚 喜六	平成 9年 4月	平成13年 3月
12	大木 徹	平成13年 4月	平成14年 3月
13	二見 泰亘	平成14年 4月	平成16年 3月
14	椎野 清一	平成16年 4月	平成18年 3月
15	府川 利明	平成18年 4月	平成19年 3月
16	中村 章	平成19年 4月	平成20年 3月
17	日比野 満雄	平成20年 4月	平成22年 3月
18	木目田 和義	平成22年 4月	平成24年 3月

代名	氏名	就任・退任年月
19	鈴木 元	平成24年 4月 ~ 平成25年 8月
20	本多 高弘	平成25年 9月 ~ 平成26年 3月
21	都筑 正宏	平成26年 4月 ~ 平成27年 8月
22	守屋 伸彦	平成27年 9月 ~ 平成29年 3月
23	穂坂 明利	平成29年 4月 ~ 令和2年 3月
24	岸 成典	令和 2年 4月 ~

歴代消防署長（小田原）

代名	氏名	就任・退任年月	
初代※	永野 林次	昭和 23 年 3 月 7 日	昭和 30 年 8 月 4 日
2※	荻窪 幸六	昭和 30 年 8 月 4 日	昭和 35 年 4 月 15 日
3※	二見 衡平	昭和 35 年 4 月 15 日	昭和 38 年 1 月 8 日
4※	小野 菊蔵	昭和 38 年 1 月 8 日	昭和 40 年 7 月 1 日
5※	勝間田 熊雄	昭和 40 年 7 月 1 日	昭和 44 年 10 月 18 日
6	遠藤 英昭	昭和 44 年 10 月 18 日	昭和 47 年 5 月 28 日
7	中根 清	昭和 47 年 5 月 28 日	昭和 57 年 11 月 1 日
8	柴崎 源次	昭和 57 年 11 月 1 日	昭和 62 年 3 月 31 日
9※	中村 満	昭和 62 年 4 月 1 日	昭和 63 年 3 月 31 日
10	高橋 廣毅	昭和 63 年 4 月 1 日	平成 8 年 3 月 31 日
11	川口 利雄	平成 8 年 4 月 1 日	平成 9 年 3 月 31 日
12	小川 暉隆	平成 9 年 4 月 1 日	平成 11 年 3 月 31 日
13	磯崎 洋三	平成 11 年 4 月 1 日	平成 13 年 3 月 31 日
14	初瀬川 洋興	平成 13 年 4 月 1 日	平成 15 年 3 月 31 日
15	府川 利明	平成 15 年 4 月 1 日	平成 16 年 3 月 31 日
16	中村 章	平成 16 年 4 月 1 日	平成 18 年 3 月 31 日
17	小関 正男	平成 18 年 4 月 1 日	平成 19 年 3 月 31 日

18	鈴木 元	平成19年4月1日	～	平成21年3月31日
19	増田 孝幸	平成21年4月1日	～	平成23年3月31日
20	大館 信雄	平成23年4月1日	～	平成25年3月30日
21	角田 貢一	平成25年3月31日	～	平成26年3月31日
22	守屋 伸彦	平成26年4月1日	～	平成27年3月31日
23	米山 喜章	平成27年4月1日	～	平成29年3月31日
24	渋谷 精二	平成29年4月1日	～	令和2年3月31日
25	小池 和宏	令和2年4月1日	～	

※ 消防長が兼務

歴代消防署長（足柄）

代名	氏名	就任・退任年月		
初代	葦山 茂	平成25年3月31日	～	平成26年3月31日
2	羽田 榮	平成26年4月1日	～	平成28年3月31日
3	岸 成典	平成28年4月1日	～	平成29年3月31日
4	久保寺 照雄	平成29年4月1日	～	平成30年3月31日
5	遠藤 正美	平成30年4月1日	～	令和2年3月31日
6	高橋 貴博	令和2年4月1日	～	

おもな災害

年 月 日	災害の種類	被 害 場 所	被 害
昭和 23. 9. 16	アイオン台風	市 内 全 域	死者 2, 負傷者 2, 流出家屋 36, 半流出家屋 14, 道路決壊 11, 河川堤防決壊 44
昭和 24. 5. 10	火 災	緑 1 玩 具 店	全焼 41 損害額 130, 080 千円
昭和 24. 8. 31	キティ台風	市 内 全 域	死者 1, 負傷者 26, 流出家屋及び全壊 103, 河川決壊 4, 道路堤防決壊 8
昭和 26. 11. 28	火 災	万 年 1 木 工 所	全焼 282, 半焼 10 損害額 151, 440 千円
昭和 30. 2. 21	〃	荻 窪 住 宅	全焼 4, 部分焼 3 死者 4 損害額 2, 800 千円
昭和 30. 12. 29	〃	緑 4 旅 館	全焼 1, 半焼 2 損害額 8, 100 千円
昭和 35. 6. 6	〃	久 野 住 宅	全焼 1, 部分焼 1 死者 1 損害額 715 千円
昭和 38. 1. 9	〃	緑 1 家 具 店	全焼 1, 部分焼 2 損害額 15, 724 千円
昭和 41. 1. 9	〃	多 古 中 学 校	全焼 1 損害額 23, 784 千円
昭和 42. 11. 27	〃	井 細 田 工 場	半焼 1 損害額 182, 263 千円
昭和 43. 3. 27	〃	栄 町 教 会	全焼 2, 半焼 1, 部分焼 1 死者 2 損害額 19, 831 千円
昭和 43. 4. 23	〃	栄 町 2 菓 子 店	全焼 3, 半焼 4 損害額 43, 961 千円
昭和 43. 6. 2	〃	池 上 小 学 校	半焼 1, 部分焼 1 損害額 8, 063 千円
昭和 44. 7. 25	〃	栄 町 2 レストラン	全焼 1, 半焼 3, 部分焼 2 損害額 42, 358 千円
昭和 45. 1. 19	〃	城 山 3 中 学 校	全焼 4 損害額 40, 573 千円
昭和 45. 3. 14	〃	堀 之 内 電 気 店	全焼 1, 部分焼 1 死者 1 損害額 9, 275 千円
昭和 45. 7. 3	〃	高 田 工 場	部分焼 1 損害額 58, 589 千円
昭和 46. 1. 9	〃	中 曾 根 住 宅	全焼 1, 部分焼 6 死者 3 損害額 899 千円
昭和 46. 3. 5	〃	板 橋 家 具 店	全焼 1, 部分焼 5 損害額 64, 279 千円

おもな災害

年月日	災害の種類	被害場所	被害
昭和47. 3. 16	火災	扇町住宅	全焼1, 部分焼1 死者1, 負傷者1 損害額2, 630千円
昭和47. 9. 15 ~16	集中豪雨 台風20号	市内全域	死者2, 負傷者5, 家屋全壊2, 橋りょう流出損壊2
昭和48. 4. 19	火災	高田工場倉庫	全焼1 1, 472 m ² 焼損 負傷者1 損害額81, 350千円
昭和48. 8. 12	〃	蓮正寺工場倉庫	全焼1 1, 728 m ² 焼損 負傷者1 損害額207, 510千円
昭和48. 10. 7	〃	中町1材木置場	全焼27, 半焼1, 部分焼11 4, 120 m ² 焼損 損害額209, 800千円
昭和49. 1. 23	〃	曾我大沢小学校	全焼4, 部分焼1 2, 256 m ² 焼損 損害額27, 650千円
昭和50. 1. 14	〃	小八幡3工場	全焼5, 部分焼3 971 m ² 焼損 損害額15, 000千円
昭和50. 3. 24	〃	国府津3郵便局	全焼2, 半焼1, 部分焼2 460 m ² 焼損 損害額28, 387千円
昭和50. 5. 7	〃	中町3工場	全焼3, 部分焼2 431 m ² 焼損 損害額25, 897千円
昭和51. 1. 20	〃	田島寺院	全焼1 158 m ² 焼損 損害額8, 762千円
昭和51. 1. 27	〃	板橋住宅	全焼3, 部分焼2 268 m ² 焼損 損害額12, 546千円
昭和51. 11. 21	〃	久野住宅	全焼2, 半焼1, 部分焼2 255 m ² 焼損 損害額16, 652千円
昭和51. 12. 8	〃	扇町木工所	全焼5, 部分焼6 498 m ² 焼損 損害額23, 788千円
昭和53. 3. 20	〃	中町3木工所	全焼10, 半焼3, 部分焼2 1, 100 m ² 焼損 損害額66, 605千円
昭和53. 4. 11	〃	栄町1事務所	全焼1, 部分焼3 745 m ² 焼損 損害額28, 691千円
昭和53. 5. 24	〃	扇町1保護施設	全焼5, 半焼1 649 m ² 焼損 損害額19, 038千円
昭和53. 6. 23	〃	本町4製材所	全焼2 656 m ² 焼損 損害額7, 548千円
昭和54. 3. 12	〃	南町3住宅	全焼3, 半焼2, 部分焼3 1, 009 m ² 焼損 損害額112, 913千円
昭和54. 4. 11	〃	小台住宅	全焼3 267 m ² 焼損 死者1 損害額8, 997千円

おもな災害

年 月 日	災害の種類	被 害 場 所	被 害
昭和54.12.18	火 災	中町3 木工所	全焼6 761 m ² 焼損 損害額 61,621 千円
昭和55. 8.15	”	中里 住 宅	全焼2, 部分焼2 214 m ² 焼損 死者1 損害額 22,507 千円
昭和56. 4. 1	”	久野 飲 食 店	全焼1 203 m ² 焼損 死者1 損害額 10,924 千円
昭和56. 7.11	”	扇町 材 木 店	全焼9, 半焼1, 部分焼7 1,290 m ² 焼損 負傷者3 損害額 110,699 千円
昭和57. 3.25	”	南町 住 宅	半焼1, 部分焼2 738 m ² 焼損 損害額 23,695 千円
昭和61. 1.28	”	久野 製 材 所	全焼1, 部分焼4 1,088 m ² 焼損 損害額 33,321 千円
昭和63.1. 2	”	下大井 工 場	全焼2, 半焼1 569 m ² 焼損 損害額 99,622 千円
昭和63. 2. 5	”	城山 住 宅	全焼5, 半焼3, 部分焼8 507 m ² 焼損 損害額 27,377 千円
平成 2.10.28	”	入生田 倉 庫	全焼2 205 m ² 焼損 損害額 33,150 千円
平成 3. 9. 4	”	扇町 共 同 住 宅	全焼1, 半焼1, 部分焼1 1,148 m ² 焼損 死者1 損害額 46,931 千円
平成 4. 7.21	”	寿町1 工 場	全焼1, 半焼1, 部分焼1 1,327 m ² 焼損 損害額 77,559 千円
平成 4.12.14	”	南町1 住 宅	全焼4, 半焼1, 部分焼2 409 m ² 焼損 損害額 15,060 千円
平成 6. 8.11	”	荻窪 工 場	全焼2, 部分焼3 1,308 m ² 焼損 負傷者1 損害額 114,459 千円
平成 7.10.25	”	小八幡2 住 宅	全焼4, 半焼1, ぼや4 523 m ² 焼損 損害額 42,989 千円
平成 8. 3. 5	”	成田 工 場	半焼1 1,228 m ² 焼損 損害額 267,817 千円
平成 9. 5.23	”	久野 寄 宿 舎	全焼1, ぼや1 487 m ² 焼損 損害額 15,516 千円
平成10. 1.23	”	久野 工 場	全焼2 533 m ² 焼損 損害額 26,605 千円
平成11. 1.21	”	府川 住 宅	全焼5 661 m ² 焼損 損害額 17,797 千円
平成11. 2. 1	”	飯泉 住 宅	全焼2, 部分焼1, ぼや3 140 m ² 焼損 死者1 損害額 16,046 千円

おもな災害

年 月 日	災害の種類	被 害 場 所	被 害
平成 11. 2. 17	火 災	小 竹 住 宅	全焼 3, ぼや 2 285 m ² 焼損 死者 1, 負傷者 1 損害額 19, 650 千円
平成 12. 9. 14	〃	石 橋 住 宅	全焼 2, ぼや 2 190 m ² 焼損 死者 1, 負傷者 1 損害額 21, 624 千円
平成 13. 2. 25	〃	小 八 幡 住 宅	全焼 1, 半焼 1, 部分焼 1, ぼや 1 196 m ² 焼損 死者 5, 負傷者 3 損害額 8, 922 千円
平成 15. 2. 18	〃	本 町 2 店 舗 併 用 住 宅	全焼 1, 半焼 1 327 m ² 焼損 死者 1, 負傷者 2 損害額 17, 375 千円
平成 15. 3. 12	〃	前 川 倉 庫	全焼 4, 部分焼 2, ぼや 10 2, 608 m ² 焼損 損害額 294, 877 千円
平成 15. 8. 11	〃	飯 泉 工 場	全焼 2, ぼや 2 2, 468 m ² 焼損 負傷者 3 損害額 131, 289 千円
平成 16. 7. 3	〃	扇 町 2 住 宅	全焼 4, 部分焼 4, ぼや 2 265 m ² 焼損 損害額 11, 401 千円
平成 17. 6. 27	〃	小 船 牛 舎	全焼 3 475 m ² 焼損 乳牛 33 頭焼損 負傷者 2 損害額 24, 462 千円
平成 18. 1. 18	〃	下 大 井 住 宅	全焼 1, ぼや 3 193 m ² 焼損 死者 1 損害額 27, 456 千円
平成 19. 11. 5	〃	根 府 川 住 宅	全焼 2, 部分焼 3, ぼや 3 240 m ² 焼損 死者 1, 負傷者 1 損害額 14, 149 千円
平成 20. 12. 27	〃	曾 我 大 沢 住 宅	全焼 1 71 m ² 焼損 死者 1 損害額 1, 853 千円
平成 21. 1. 30	〃	荻 窪 店 舗 兼 事 務 所	半焼 1 82 m ² 焼損 死者 2, 負傷者 4 損害額 11, 370 千円
平成 22. 12. 28	〃	栄 町 3 住 宅	全焼 5, ぼや 5 538 m ² 焼損 損害額 18, 614 千円
平成 23. 4. 17	〃	西 大 友 併 用 住 宅	全焼 3, 半焼 1 226 m ² 焼損 損害額 28, 105 千円
平成 24. 2. 17	〃	東 町 5 住 宅	全焼 1, ぼや 2 39 m ² 焼損 死者 1, 損害額 1, 019 千円
平成 24. 7. 16	〃	小 船 倉 庫	全焼 1, ぼや 4 404 m ² 焼損 損害額 6, 499 千円
平成 25. 3. 24	〃	寿 町 2 小 学 校 体 育 館	全焼 1, ぼや 1 720 m ² 焼損 損害額 141, 602 千円
平成 25. 9. 16	〃	扇 町 2 店 舗 併 用 住 宅	全焼 4, 部分焼 1 659 m ² 焼損 損害額 103, 618 千円
平成 25. 10. 21	〃	南 町 3 住 宅	全焼 3, 半焼 1, 部分焼 1 918 m ² 焼損 損害額 11, 722 千円

おもな災害

年 月 日	災害の種類	被 害 場 所	被 害
平成 26. 7. 31	火 災	中 井 町 井 ノ 口 店 舗 併 用 住 宅	全焼 1 775 m ² 焼損 負傷者 3 損害額 111,697 千円
平成 27. 6. 30	〃	上 町 鉄 道 (新幹線車両)	損害額 17,748 千円 死者 2、負傷者 28
平成 27. 10. 18	〃	松田町寄 納屋・住宅	全焼 3、部分焼 1 306 m ² 焼損 損害額 18,276 千円
平成 27. 12. 17	〃	南 足 柄 市 大 雄 町 店 舗 併 用 住 宅	全焼 5、部分焼 1 658 m ² 焼損 負傷者 1、損害額 33,719 千円
平成 29. 7. 27	〃	南足柄市塚原 倉庫	部分焼 1 1,153 m ² 焼損 損害額 202,165 千円
平成 30. 8. 24	〃	小 田 原 市 東 町 遊 技 場 兼 寄 宿 舎	全焼 1 1,036 m ²
平成 31. 1. 9	〃	小 田 原 市 清 水 新 田 住 宅 ・ 共 同 住 宅	全焼 1、半焼 1、部分焼 1、ぼや 1 116 m ² 焼損 死者 3、負傷者 2

◎ 平成 25 年からの変更事項

- 1 小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町及び開成町における災害記録を記載しています。
(平成 24 年以前は、小田原市のみを記載)
- 2 掲載する災害は、火災・災害等即報要領 (昭和 59 年 10 月 15 日消防災第 267 号 消防庁長官)「第 2 即報基準」に基づく、火災・災害等としています。